



## 平成22年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街					
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	[福祉除雪]利用世帯の満足度	90.2%	94.3%	95.7%	95.6%	90%以上	90%以上
1	[福祉除雪]地域協力員の満足度	90.8%	92.5%	95.8%	97.7%	90%以上	90%以上
1	[高齢者、障がい者の生活あんしん支援]総合的な相談窓口の設置	検討	検討	設置			設置 (20年度)
1	社会福祉協議会の法人後見事業の実施	検討	検討	実施	実施	実施	実施 (20年度)
1	グループホーム等の箇所数(累計)	164カ所	184カ所	216カ所	250カ所	276カ所	268カ所
1	障がい者相談支援事業実施箇所数	10カ所	12カ所	14カ所	15カ所	16カ所	16カ所
1	住宅入居等支援事業実施箇所数	—	4カ所	5カ所	16カ所	17カ所	7カ所
1	[精神障がい者退院促進支援]事業参加病院数(累計)	—	—	5病院	25病院	34病院	36病院
1	障がい児等療育支援事業実施箇所数(累計)	5カ所	6カ所	7カ所	15カ所	7カ所	8カ所
1	高齢者向け優良賃貸住宅の認定戸数	147戸	147戸	147戸	197戸	247戸	347戸
1	借上市営住宅の認定戸数	894戸	986戸	1,087戸	1,178戸	1,278戸	1,298戸
2	[障がい者雇用マッチング]本事業により企業などに派遣される障がい者数	—	—	—	1人/日	5人/日	5人/日
2	協働事業実施事業所数	3カ所	6カ所	7カ所	8カ所	10カ所	10カ所
2	元気ショップ2号店の開設	—	—	調査	既存店舗 拡張	拡張工事・ 開設	開設
2	障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)設置箇所数	—	—	1カ所	1カ所	2カ所	1カ所
2	市各部署での障がい者施設などに対する発注量	—	庁内PR	庁内PR	物件0.1% 役務0.1%	全発注量の 1.8%	全発注量の 1.8%
2	[知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成]講座を受講した障がい者数(累計)	—	11人	20人	29人	39人	25人
3	利用者5,000人/日以上>JR駅バリアフリー化(累計)	9駅	9駅	10駅	12駅	14駅	12駅
3	ノンステップバスの導入台数(累計)	51台	69台	80台	95台	101台	75台
3	大通バスセンター耐震化	—	協議	一部完了	完了		完了 (21年度)
3	大通バスセンターバリアフリー化	—	—	—	検討	検討	完了
3	エレベーター未設置の地区センター数	10カ所	10カ所	9カ所	8カ所	7カ所	7カ所
3	優しさと思いやりのバリアフリーのルール策定	検討	検討	検討	検討	策定	策定
3	地下鉄駅へのエレベーター等設置(累計)	43駅	45駅	47駅	47駅	47駅	47駅
3	[ユニバーサルデザインの公園づくり]身障者対応便所の整備率(バリアフリー新法における22年度までの達成目標値)	20%	23%	25%	28%	30%	30%
3	バリアフリー公園数(累計)	2カ所	2カ所	3カ所	3カ所	4カ所	4カ所
3	[福祉と多世代のふれあい公園づくり]乳幼児キッズコーナー数(累計)	—	—	—	5カ所	9カ所	10カ所
3	[芸術の森園路等]バリアフリー化工事	—	—	未実施	野外美術館 内園路舗装	未定	実施 (20年度)
3	体育施設のバリアフリー化	3施設	3施設	3施設	3施設	3施設	6施設
3	[誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク]重点整備地区バリアフリー化率	71%	82%	88%	90%	100%	100%
3	あんしん歩行エリア等の形成数	9エリア	9エリア	10エリア	10エリア	10エリア	12エリア

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街					
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
3	[厚別副都心地区]乗継動線のバリアフリー化	—	基本設計	実施設計 改修等工事	実施設計 改修等工事	完了	完了
3	[地下鉄駅施設]バリアフリー化されている駅数	22駅	29駅	37.5駅	43.5駅	49駅	49駅(全駅)

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進
主 な 取 組 内 容		
施策1	共生に根ざした健やかな地域生活の支援	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉除雪 利用世帯数3,930世帯・協力団体数219団体</li> <li>●地域福祉権利擁護事業・福祉サービス苦情相談・高齢者虐待相談・障がい者あんしん相談の総相談件数10,854件</li> <li>●グループホーム等新規設置数20カ所(補助13カ所)</li> <li>●障がい者に対する総合的な相談支援を行う「相談支援事業所」B型・C型各1カ所増(全12カ所)</li> <li>●障がい者に対して住宅への入居時や入居後の支援を行う「住宅入居等支援事業」開始(10月～。4カ所)</li> <li>●障がい児(者)に対する発達援助や医療的ケアに関する専門的な視点からの療育指導等を行う「障がい児等療育支援事業」実施箇所 1カ所増(全6カ所)</li> <li>●既設市営住宅のエレベーター設置モデル事業の実施(北30条団地2号棟)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉除雪 利用世帯数4,118世帯</li> <li>●高齢者、障がい者などの権利擁護に係る総合的な相談窓口として「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の開設(10月～) 総相談件数12,986件</li> <li>●社会福祉協議会の法人後見事業の開始(10月～) 受任件数2件</li> <li>●グループホーム等新規設置数32カ所(補助22カ所)</li> <li>●相談支援事業所 B型・C型各1カ所増(全14カ所)</li> <li>●住宅入居等支援事業 1カ所増(全5カ所)</li> <li>●受入条件が整えば退院可能な精神障がい者の地域生活への移行を支援する「精神障がい者地域生活移行支援事業」開始</li> <li>●障がい児等療育支援事業実施箇所 1カ所増(全7カ所)</li> <li>●既設市営住宅のエレベーター設置モデル事業の実施(北30号団地1号棟)</li> </ul>
	21年度(実績)	22年度(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉除雪 利用世帯数4,148世帯</li> <li>●「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の運営</li> <li>●日常生活自立支援事業・福祉サービス苦情相談・高齢者虐待相談・障がい者あんしん相談の総相談件数15,784件</li> <li>●社会福祉協議会の法人後見事業 受任件数1件</li> <li>●グループホーム等新規設置数34カ所(補助12カ所)</li> <li>●「相談支援事業所」の相談支援体制強化(拠点事業所、ピアサポーター事業所の創設等) 事業所1カ所増(全15カ所)</li> <li>●「住宅入居等支援事業」をすべての相談支援事業所で実施 事業所1カ所増(全16カ所)</li> <li>●「精神障がい者地域生活移行支援事業」の実施体制強化(対象者決定会議の設置等)</li> <li>●「障がい児等療育支援事業」をすべての相談支援事業所で実施 事業所1カ所増(全15カ所)</li> <li>●既設市営住宅のエレベーター設置モデル事業の実施(北30号団地3号棟)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉除雪 利用世帯数4,200世帯</li> <li>●「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の運営</li> <li>●日常生活自立支援事業・福祉サービス苦情相談・高齢者虐待相談・障がい者あんしん相談</li> <li>●社会福祉協議会の法人後見事業</li> <li>●グループホーム等新規設置数26カ所(補助16カ所)</li> <li>●「相談支援事業所」の相談支援体制強化(相談支援専門部会の設置、統一的なガイドラインの作成) 事業所1カ所増(全16カ所)</li> <li>●「住宅入居等支援事業」をすべての相談支援事業所で実施 事業所1カ所増(全17カ所)</li> <li>●「精神障がい者地域生活移行支援事業」の実施体制強化(パンフレットの作成、研修会の実施等)</li> <li>●「障がい児等療育支援事業」を地域の細かな療育指導に対応できるよう委託費の支払方法を細分化 実施事業所は昨年度実績に基づく6カ所と事業所1カ所増(全7カ所)</li> </ul>
施策2	協働による障がいのある人への就労支援	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の継続した雇用の場となる「障がい者協働事業」実施事業所数 6カ所(18年度比3カ所増。雇用数36人)</li> <li>●知的障がい者等を対象としたホームヘルパー3級養成講座実施(受講者19人(障がい者11人・支援者8人))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん(派遣)」事業開始(2月～)</li> <li>●「障がい者協働事業」実施事業所数 7カ所(19年度比1カ所増。雇用数45人)</li> <li>●元気ショップ2号店開設等調査</li> <li>●就労している障がい者などに対する就労面と生活面の一体となった相談支援等を行う「障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)」設置(10月～。1カ所)</li> <li>●知的障がい者等を対象としたホームヘルパー3級養成講座実施(受講者18人(障がい者9人・支援者9人))</li> </ul>
	21年度(実績)	22年度(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん(派遣)」事業通年実施</li> <li>●「障がい者協働事業」実施事業所数 8カ所(20年度比1カ所増。雇用数50人)</li> <li>●元気ショップ既存店舗の拡充を決定</li> <li>●「障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)」事業通年実施(1カ所)</li> <li>●知的障がい者等を対象としたホームヘルパー3級養成講座実施(受講者17人(障がい者9人・支援者8人))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん(派遣)」事業実施</li> <li>●「障がい者協働事業」実施事業所数 10カ所(21年度比2カ所増。雇用数50人)</li> <li>●元気ショップの拡充工事・開設</li> <li>●「障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)」事業実施 事業所1カ所増(全2カ所)</li> <li>●知的障がい者等を対象としたホームヘルパー3級養成講座実施(受講者20人(障がい者10人・支援者10人))</li> </ul>

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街				
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進				
主 な 取 組 内 容						
施策3	障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化					
19年度(実績)			20年度(実績)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●JRあいの里教育大駅障がい者対応型トイレ新設工事補助</li> <li>●ノンステップバス導入補助</li> <li>●人の目で確認をしていく「優しさと思いやりのバリアフリー」のルール策定に係る部会1回開催</li> <li>●地下鉄駅エレベーター等設置(南郷7丁目駅・バスセンター前駅・中の島駅(麻生方面))</li> <li>●ユニバーサルデザインの公園整備(33公園)</li> <li>●特定経路の歩道バリアフリー化(9路線・延長2.7km)</li> <li>●地下鉄駅施設のバリアフリー化(北18条駅ほか6駅)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR新札幌駅バリアフリー化補助</li> <li>●ノンステップバス導入補助</li> <li>●大通バスセンター耐震化(耐震改修)</li> <li>●藤野地区センターに車いす対応エレベーター設置</li> <li>●人の目で確認をしていく「優しさと思いやりのバリアフリー」のルール策定に係る部会3回開催</li> <li>●地下鉄駅エレベーター等設置(北12条駅・北18条駅)</li> <li>●ユニバーサルデザインの公園整備(39公園)</li> <li>●福祉施設と連携したバリアフリー公園整備(白石東公園)</li> <li>●特定経路の歩道バリアフリー化(7路線・延長1.4km)</li> <li>●〔厚別副都心地区〕2階公共通路改修・エレベーター2基新設</li> <li>●地下鉄駅施設のバリアフリー化(東札幌駅ほか7.5駅)</li> </ul>			
21年度(実績)			22年度(予定)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR発寒駅・JR厚別駅バリアフリー化補助</li> <li>●ノンステップバス導入補助</li> <li>●ふしこ地区センターに車いす対応エレベーター設置</li> <li>●人の目や感覚で確認をしていく「優しさと思いやりのバリアフリー」のルール策定に係る部会等4回開催</li> <li>●ユニバーサルデザインの公園整備(42公園)</li> <li>●福祉施設と連携したバリアフリー公園整備(基本設計・ワークショップ。西野中央藤花公園)</li> <li>●特定経路の歩道バリアフリー化(21路線・延長7.8km)</li> <li>●〔厚別副都心地区〕エレベーター1基新設・案内標示システム関連調査及び設計・誘導ブロック設置</li> <li>●地下鉄駅施設のバリアフリー化(南北線さっぽろ駅ほか5駅)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR札幌駅・JR発寒中央駅バリアフリー化補助</li> <li>●ノンステップバス導入補助</li> <li>●新発寒地区センターに車いす対応エレベーター設置</li> <li>●人の目や感覚で確認をしていく「優しさと思いやりのバリアフリー」のルール策定、運用開始</li> <li>●ユニバーサルデザインの公園整備(42公園)</li> <li>●福祉施設と連携したバリアフリー公園整備(実施設計・工事。西野中央藤花公園)</li> <li>●特定経路の歩道バリアフリー化(52路線・延長16.5km)</li> <li>●〔厚別副都心地区〕エレベーター1基及び連絡通路新設・地下鉄駅出口改修・公共交通乗継案内標識再整備</li> <li>●地下鉄駅施設のバリアフリー化(栄町駅ほか4.5駅)</li> </ul>			
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(実績)	21年度末(実績)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
障がい者グループホーム等	164カ所	184カ所	216カ所	250カ所	276カ所	268カ所
障がい者相談支援事業	相談支援 :10カ所 住宅支援 :0カ所	相談支援 :12カ所 住宅支援 :4カ所	相談支援 :14カ所 住宅支援 :5カ所	相談支援 :15カ所 住宅支援 :16カ所	相談支援 :16カ所 住宅支援 :17カ所	相談支援 :16カ所 住宅支援 :7カ所
障がい児等療育支援事業	5カ所	6カ所	7カ所	15カ所	7カ所	8カ所
障がい者協働事業	3カ所	6カ所	7カ所	8カ所	10カ所	10カ所
地下鉄駅エレベーター等設置	43駅	45駅	47駅	47駅	47駅	47駅
地下鉄駅施設のバリアフリー化	22駅	29駅	37.5駅	43.5駅	49駅	49駅



## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進
評価(成果)		課題
<b>施策1</b>	<b>共生に根ざした健やかな地域生活の支援</b>	
障がいのある人の地域生活への移行を促進するために、グループホーム等について着実に拡充を進めるとともに、相談支援事業所等の拡充や体制強化を図ってきたほか、権利擁護に係る総合的な相談窓口となる「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の開設や社会福祉協議会の法人後見事業の開始、受入条件が整えば退院可能な精神障がい者の地域生活への移行を支援する「精神障がい者地域生活移行支援事業」などを実施し、身近な地域における健やかで安心して生活を支えるための支援体制を着実に整備してきたところである。 平成22年度においても、引き続きグループホーム等の整備を進めるとともに、地域における相談支援体制を強化するなど、障がいのある人の地域生活への移行を促進し、安心して地域で暮らせる体制のより一層の整備に努めていくこととしている。	グループホーム等や相談支援・療育支援の拡充、権利擁護に係る総合的な窓口の設置等により、障がいのある人の地域生活を支えるサービス提供体制は整備されてきているが、障がいのある人が健やかな地域生活を送るためには、個々のニーズに沿ったきめ細かなサービスを提供できる体制の整備が必要である。 また、障がいのある人が地域で安心して生活を送り、自己実現を達成していくためには、サービスを上手く組み合わせるだけでなく、地域での支え合いが重要であることから、相談支援事業所を核とする地域のネットワークづくりを一層進めていくことも重要である。	
<b>施策2</b>	<b>協働による障がいのある人への就労支援</b>	
障がいのある人への就労支援については、障害者自立支援法の「就労移行支援」や「就労継続支援」といった法定事業のほか、障がい者協働事業の拡充による雇用の場の開拓や、ホームヘルパー3級養成講座の実施による能力開発などに加え、「派遣」という形態を活用して就労可能な職域を開拓し企業の理解を深める「元気はっけん(派遣)」事業や就労者などに対し生活と一体となった総合的な支援を行う「地域活動支援センター(就労者支援型)」の設置などの取組も行い、就労支援体制の一層の整備を図ったところである。 平成22年度においても、これらの取組を着実に推進し、北海道労働局等関係機関と協働をより一層深めながら就労支援を進めていくこととしている。	「一般就労」に関しては、昨今の非常に厳しい経済状況を踏まえ、障がいのある人の就職及び雇用の安定に係る支援を、北海道労働局等関係機関と協働しながら、積極的に推進していく必要がある。 また、「福祉的就労」に関しても、「元気ショップ」を中心として、授産製品の販路拡大に積極的に取り組み、授産工賃の向上を図るとともに、一般就労に結びつけていく取組が重要となっている。	
<b>施策3</b>	<b>障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化</b>	
地下鉄駅のエレベーター設置やバリアフリー化、ノンステップバスの導入補助、ユニバーサルデザインに配慮した公園づくり、歩道のバリアフリー化など、安全・安心に移動できる環境の整備を順調に進めているほか、福祉施設と連携した公園づくりといった取組も実施し、障がいのある人を始め誰もが安心して、安全で快適に暮らせるまちの整備を推進してきたところである。 平成22年度においては、引き続き公共的施設の整備を進めていくとともに、数値化されたバリアフリー基準のみに頼るのではなく、人の目や感覚で確認していく新たなバリアフリー化のルールを策定し、運用を開始する。	障がいのある人を始め誰もが安心して、安全で快適に暮らせるまちづくりをより一層進めていくために、公共的施設の整備に係る財源の効果的な投入のほか、人の目や感覚で確認していく新たなバリアフリー化のルールの実効性確保や公共交通事業者、地域住民などとの一層の連携・協働が重要である。	
今後の重点取組		
障がいのある人の自立を促進していくためには、サービス提供体制を一層充実するとともに、障がいのある人のニーズに対応したきめ細かな支援が必要である。そのため、国の障がい者制度改正の動向を注視しつつ、既存の事業を着実に実施していくとともに、障がいの種別や重さにかかわらず安心して地域生活を送ることができるように、必要とされる施策を検討し実施していく必要がある。 また、障がいのある人を地域全体で支える体制の整備(地域福祉力の向上)も非常に重要であることから、相談支援体制を一層充実し、これを核とする地域のネットワークづくりを推進していく必要がある。		

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その7)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街												
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進												
成果指標等の動向														
項目1	まちのバリアフリー化が進んでいると感じる障がいのある人の割合(単位:%)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19 (H19.8)</td> <td>29.3</td> </tr> <tr> <td>H19 (H20.3)</td> <td>44.7</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>41.4</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>			年度	割合(%)	H19 (H19.8)	29.3	H19 (H20.3)	44.7	H20 (実績)	49.6	H21 (実績)	41.4	H22 (目標値)	50
年度	割合(%)													
H19 (H19.8)	29.3													
H19 (H20.3)	44.7													
H20 (実績)	49.6													
H21 (実績)	41.4													
H22 (目標値)	50													
項目2	まちのバリアフリー化が進んでいると感じる人の割合(単位:%)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>39.9</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>43.4</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>37.5</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>			年度	割合(%)	H18 (現状値)	39.9	H19 (実績)	43.4	H20 (実績)	37.5	H22 (目標値)	60		
年度	割合(%)													
H18 (現状値)	39.9													
H19 (実績)	43.4													
H20 (実績)	37.5													
H22 (目標値)	60													
【実績値の推移に係る検証】 21年度の実績値減の原因がアンケートの精度によるものか検証必要														
項目3	入所施設の入所者の地域生活への移行者数(H19～22累計)(単位:人)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>移行者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>320</td> </tr> </tbody> </table> <p>次回調査結果の公表時期は未定</p>			年度	移行者数	H18 (現状値)	62	H20 (実績)	135	H22 (目標値)	320				
年度	移行者数													
H18 (現状値)	62													
H20 (実績)	135													
H22 (目標値)	320													
項目4	入院中の精神障がい者の地域生活への移行者数(H19～22累計)(単位:人)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>移行者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>264</td> </tr> </tbody> </table>			年度	移行者数	H19 (実績)	28	H21 (実績)	166	H22 (目標値)	264				
年度	移行者数													
H19 (実績)	28													
H21 (実績)	166													
H22 (目標値)	264													
【実績値の推移に係る検証】 21年度の実績値減の原因がアンケートの精度によるものか検証必要														
【実績値の推移に係る検証】 移行者数は着実に増えている														
項目5	福祉施設から一般就労への移行者数(単位:人)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>移行者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17 (現状値)</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table>			年度	移行者数	H17 (現状値)	22	H19 (実績)	85	H20 (実績)	74	H21 (実績)	83	H22 (目標値)	87
年度	移行者数													
H17 (現状値)	22													
H19 (実績)	85													
H20 (実績)	74													
H21 (実績)	83													
H22 (目標値)	87													
【実績値の推移に係る検証】 雇用環境は依然として厳しいが、高水準で推移している														
項目6														
【実績値の推移に係る検証】 -														
成果指標等から見た重点課題の評価														
<p>まちのバリアフリー化に関しては、障がいのある人の4割以上が1年前に比べてバリアフリー化が進んでいると感じており、比較的順調に推移していると考えられる。このことを踏まえ、障がいのない人に対しても、札幌市の取り組みへの理解を得ることが必要である。</p> <p>障がいのある人の地域移行に関しては、日常生活や就労などに関する相談支援体制やサービス提供基盤の充実の取組などにより、着実に進んでおり、今後も引き続き、地域生活を支える各種サービス提供体制や、地域での受入体制の整備に努める必要がある。</p> <p>また、就労支援に関しては、福祉施設から一般就労への移行者数は高水準で推移している。雇用環境は依然として厳しい状況にあるが、障害者自立支援法に規定する就労支援のほか、札幌市独自の事業などにより、今後も引き続き一般就労に向けた取り組みを推進する必要がある。</p>														